

「我が町の特産

田辺なすの栽培について」

京都府田辺町農業協同組合
営農指導室 瀧山 康夫

京都府綴喜郡田辺町は、府南部に位置し、山城盆地を南北に流れる一級河川木津川左岸が東部を区切り、南端は奈良県に、西部は大阪府と隣接しており、京都、大阪、奈良の各市へは、車で約40分程度と、都市近郷の条件がそろっており、近年は、京阪奈丘陵の北部にあたる田辺町は、関西学研都市開発の一部に組み込まれ、1昨年は同志社大学田辺キャンパスが開校され、又、昨年は京都国体の開催に合わせ、厚生年金センターがオープンするなど、都市化も急激に進んでいます。

一方、気象条件は、年平均気温14.9度、年間降雨量1,334mmとなっており、冬期降雪はあるものの積雪はなく京都府下では比較的温暖な土地柄です。

また土壌条件は、木津川流域沿いに広がる水田地帯で、沖積土壌が大半を占め、土質は、砂質～砂壤土の分布が多く、又水田は比較的湿潤ではあるが、湿田は少ない方です。

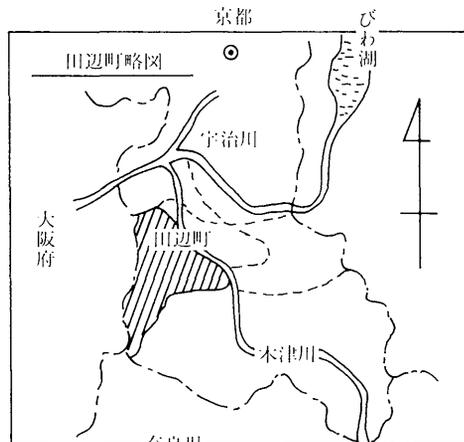
町の主な農産物は米以外に、宇治茶で有名な高級玉露・山城筍・各種野菜がありますが、昨年よりカーネーションの栽培も始まり、施設切花が今後増加する見込みです。又前記農産物の中でも「ナス」は約16ha栽培され町の特産物となっています。

① 田辺茄子の概要

田辺町でのナスの栽培は第2次大戦後間もなく、採種用の栽培がなされ、昭和34年頃より青果物としての生産が始まったと聞き及んでいます、本格的な栽培と品種の導入がなされたのは、昭和40年頃で、この時に共販体制の基礎が作られたのです。

昭和44年には農協合併（5農協）が実施され田辺町統一の共販体制も確立されました。

品種はタキイ種苗の「千両」から統一共販時には「千両一号」に変わり、以後、20年間同品種の栽培を続けていますが昭和45年より赤茄子を台木とする接木栽培を手掛けています。しかし、永年の栽培により一部で青枯病が発生し始めた頃、京都府農業研究所で各種台木試験が行こなわれ、田辺町でも有望品種を数種現地試験を実施した処、トルバムが良好な結果となり、昭和55年より有志農家で導入を始めましたが、病気の抵抗性以外に品質の良い果実が生産される事が判り現在では90%以上がト



ルバム台木を導入しています。

昭和56年には数年前から研究がなされていた仕立方法の改良が成果を上げ、V字型整枝（資料1参照）が普及し上物率の向上に貢献していますが現在でも畦立方法の改善、畦間々隔の適正距離を模索するなど、農家のためまね研究と努力が続けられています。

ナスの栽培管理労力の中でも大きなウエイトを持つ施肥の改善は、昭和57年にロング®化成を導入した点であり詳細については後で述べますが、その省力効果は農家に高く評価され、田辺ナスの栽培上、不可欠の肥料となっています。

② 栽培の概況（トンネル露地栽培）

月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
トンネル												
	○	◎	□	×	△	収						穫
台木は種	茄	移	接	ぎ	定	●10アール当り収量 12トン						
	は	は	植	木	植	●10アール当り施肥量						
	種	種				チッソ：141kg						
						リンサン：78kg						
						カリ：75kg						

③ 出荷と販売

- (1) 昭和44年から個人選果、共同販売に実施。
- (2) 昭和53年から野菜価格安定制度導入。
- (3) 出荷体制
 - イ. 栽培農家数 148戸 集荷ヶ所数 8ヶ所 出荷組合数 8
 - ロ. 収穫開始より6月30日までは個人出荷で京都青果へ出荷。7月1日より11月30日まで共販で大阪東果市場へ出荷。

指定野菜価格安定対策事業実績表

年度	出荷対象期間	予約数量 (トン)	資金造成額 (万円)	出荷実績 (トン)	出荷割合	交付対象 数量(kg)	補給金交付 (万円)
S 55	7 / 1	1,400	7,401.4	1,225.7	97.6%	205.4	4,532
56	か	1,400	7,401.4	1,361.5	97.7%	1,049.6	34,364
57	ら	1,400	7,401.4	1,248.9	89.2%	280.0	9,556
58	11 / 30	1,400	7,401.4	1,561.9	111.6%	82.3	658
59		1,400	7,401.4	1,586.9	113.3%	648.0	25,359
60		1,400	7,857.6	1,382.0	98.7%	326.1	9,889
61		1,400	7,857.6	1,515.3	108.2%	693.5	16,339
62		1,460	8,085.7	1,599.4	109.5%	528.0	13,369
63		1,460	8,047.7	1,668.2	114.3%	未定	未定

※大阪東果市場 8 kgダンボール

ハ. 出荷規格・量目 8 kg・2 L (60ヶ) 主体 L (80ヶ)
M (96~100) (秀品のみ出荷)

ニ. 優品の扱い・出荷期間中 250 トンを京都市内漬物業者と契約。価格は毎年市場価格を基準に決定。

続いて、田辺ナスとロング®肥料について述べて行きます。

まず、田辺茄子は、数ある野菜の中では非常に長い栽培期間の作物で、育苗は12月中～下旬に台木をは種する事に始まり、1月上旬の穂木のは種・2月には移植に続いて接木を行ない、4月中旬の定植迄をビニールハウス内で行ないますが、この期間に本田の準備をして行きます。(施肥設計参照) 本田での栽培期間は ②栽培の概況の通りで、4月中旬～11月と長期間に渡るため、冬の育苗期間中に行なう、本田の準備は、最も重要で、従来から有機質肥料を、大量に投入してきました。又栽培期間中の追肥も油粕を主体に多用しますのでその労力は大変大きなものとなっていました。

さて、田辺ナスとロング®化成の出合いです。従来から緩効性肥料としてナスに使っていたCDU®燐安のメーカーの方が農協に訪問され、90日～1年間肥効のある、ロング®化成があるので使わないか!! との事でした。当時私も夢のような話で、取り合わなかった訳ですが、セールスの方の熱意に心動かされ2名程の農家で180日タイプの試験をしてみよう事になり、半信半疑で取り組みました。その時一度に半年分の肥料を入れるため元肥の施用量が、従来の数倍となったため、定植した苗が枯れてしまうのではないかと、3日に1回位、圃場をのぞきに行ったものです。

やがて秋になり、良好な結果を得たのですが、たまたま、供試農家が宣伝効果の高い人であり、試験も慎重にもらったので、翌年からは多くの農家で導入され、肥効の安定と、省力化を実施していますが、この時以前から肥切れ時に多発する「褐色^{マルカシ}星病」が激発傾向にありましたがロング®肥料を使用する事により、発生を見

なくなったので防除迄省力化され、この肥料に対する信頼性が益々高まった事も見のがせません。しかし元肥における代金が高額となるため、使用をためらう農家があったので、メーカーの指導により、NKタイプの実用化に取り組みコストダウンを達成しています。

現在は、田辺ナスの栽培に、ロング®肥料は欠かせないものとなり、ほとんどの農家で農協の施肥設計による栽培を行っており、前記の実績を上げています。

又実際には施肥の省力化による余剰労力は栽培面積の拡大にもつながり、転作面積の消化にも役立つ(田辺ナスは水田での栽培が100%近い) 重宝な肥料となっています。

近年は、西日本で大きな被害を出す「ミナミキイロアザミウマ」が昭和62年に激発しましたが、63年はその経験を生かし、6～7月の初期防除に専念出来、軽微な被害で済んだ事も、この時期の施肥の省力化のお陰と農家の方も考えています。

コーティング肥料(ロング®, LPコート®)今後の取り組み!! については、田辺町農協では、水稻に普及を始めていますが、お茶での普及も重要で、労力の集中が甚だしい摘採前の芽出し肥等は経営上最も省力化が必要と思われる。

又、花卉については昨年より切花栽培を始めており、当面は、3haを目標に推進しているが、草花類は手間のかゝる作物なので、現在使用方法を試験研究している最中です。

今迄述べたように「ロング®肥料」はその利点が多いため、今後当農協管内では、全ての作物への普及を検討しており、都市化する田辺町内での高価な人件費を補う資材として有効に活用して行きたい。

最後にメーカーへの要望として、当農協管内の野菜等は大部分が水田を利用して栽培されているので、この肥料を使用すると、水稻を栽培する時に、圃場に水を入れると、残り粕が多量に浮遊するので、水より重くなる工

夫をお願いする次式です。

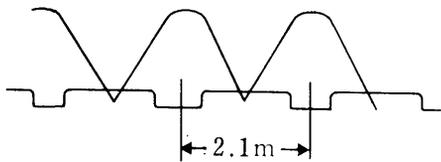
化など、土壤改良につながれば、最良の資材になると思
います。

尚、欲を言えば、残り粕が保水力の向上、土壤の団粒

ナス早熟トンネル栽培

ロングNK180使用 施肥設計 目標収量 12トン

肥料名	元 肥		追肥	備 考
	基肥	植付肥		
軍配4号	キロ 40	キロ —	キロ —	稲ワラ20a分を散布し、後に軍配4号を 40kg散布(なるべく1月中に施用)
苦土石灰	160	—	—	全面散布とし、なるべく2月中に施用 ………苦土欠の予防 …ロング180は燐酸が入っていません
骨粉	90	—	—	
蒸製羊毛	200	—	—	
BMようりん	100	—	—	
水酸化 マグネシウム	100	—	—	
ロング180	300	—	—	
骨粉	90	骨粉・油粕	—	ロングNK180(20-0-13)の80キロは 畦たての際に散布後中耕整地する
油粕	200			
ロング180	80			
過燐酸石灰	—	40	過石 楽園	植付床は高く
楽園	—	40		
硫マ	—	—	40	6月の梅雨明けまでに畦全面散布
油粕	—	—	120	9月分追肥(必ず穴肥で)
CDU化成	—	—	60	10月分追肥
千代田化成	—	—	60	



ナスアーチの間隔は2.1Mで。

成分総量 チツソ 141キロ

リンサン 78

カリ 75

※次の条件にあてはまる場合は、全搬に肥料を調整(少
なく)して下さい。

1. 自家苗(老化苗)でなく、買苗(若苗)の場合。
2. 初期単花処理を行わない場合。
3. 砂質土壌の場合。

資料1

1. 6月上~中旬に支柱を立てる。
2. 風で倒れる恐れのある場合は、とりあえず良く伸びた枝を1株に2~4本両側に誘引する。
3. 6月中~下旬にテープまたは針金等を3~4段張る。
4. 上記の作業を終えたら1株に6本を目標とし片側に3本ずつ生育の旺盛な枝を誘引し、つりひもは最上段

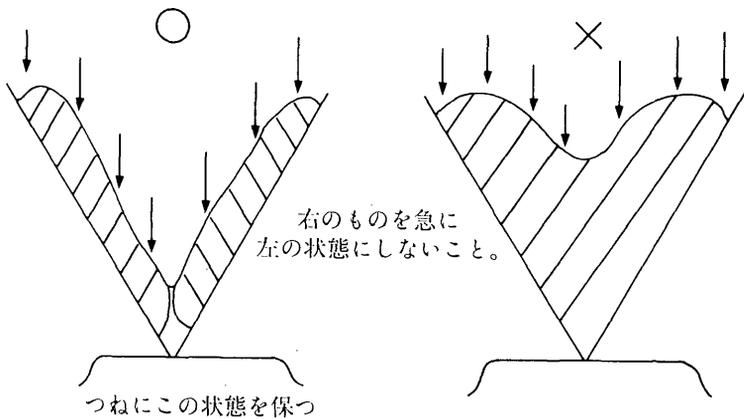
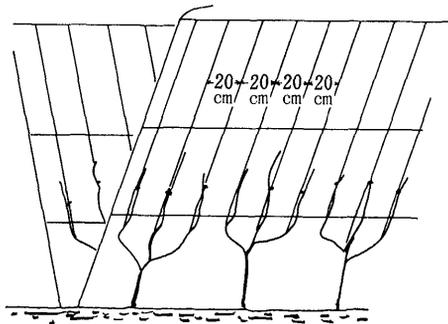
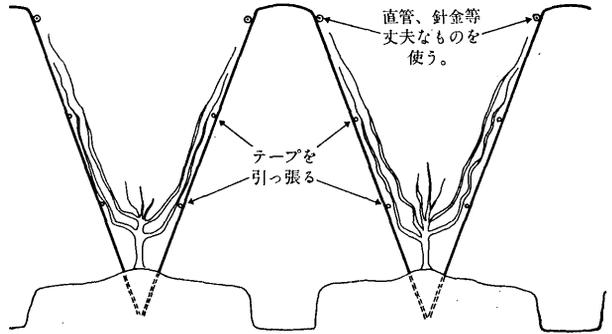
台木品種別秀優販売額(10a当り)

品 種		出荷量(kg)	販 売 額(円)		収量(kg)	商品化率(%)	秀品率(%)
トルバム (V字型)	秀	4221	8546	399090	10209	83.7	49.4
	優	4325		276680			
トルバム (慣行)	秀	3091	8070	321410	10260	78.7	38.3
	優	4979		285980			
アカナス (V字型)	秀	4483	8429	419180	9996	84.3	53.2
	優	3946		249170			
ツノナチ (V字型)	秀	4158	7927	392660	9716	82.1	52.2
	優	3814		228510			

迄張っておく。

- 5. 7月上~中旬より整枝を開始し、伸ばず枝はつりひもに個定する。

茄子アーチ型支柱「V字仕立て」



※1度に多量の摘枝、摘葉は果実が曲り生育がアンバランスになる。

